

第2回 北海道チャレンジカップ 申し合わせ事項

1 形競技

(1) 共通事項

- ・審判3名によるフラッグ方式（決勝戦まで2名同時演武）。
- ・主審は赤・青の順に形名を確認後、笛を吹く（選手は自身のタイミングで始める）。
※選手番号の若い（低い）方が赤
- ・礼が無い場合は主審の指導で礼をさせる（失格・減点はしない）。
- ・予選から決勝まで同じ形を繰り返し使用してもよい。
- ・演武する形は下表の通りとする。

種 目	幼 年	小学生		中学生	
		フレッシュ	チャレンジ	フレッシュ	チャレンジ
予 選	基本形	基本形	基本形	基本形	指定形
決 勝	基本形	基本形	基本形 or 指定形	基本形 or 指定形	指定形 or 得意形

(2) 予選リーグ

- ・フラッグ判定、上位2名が決勝トーナメントへ進出する（5人リーグは上位3名）。
- ・勝点で順位を決する（勝ち3点、負け0点）。
- ・勝点と同じ場合、①旗数の得失差、②直接対決結果、③ジャンケンの順で決する。

(3) 決勝トーナメント

- ・フラッグ判定、決勝戦も2名同時演武、敗者復活戦無し。

2 組手競技

(1) 予選リーグ ※試合時間：1分フルタイム

- ・上位2名が決勝トーナメントへ進出する（5人リーグは上位3名）。
- ・先取が無く同じポイント数の場合は引き分けとする（フラッグ判定無し）。
- ・勝点で順位を決する（勝ち3点、引き分け1点☆0対0の場合は0点☆、負け0点）
- ・勝点と同じ場合、①ポイントの得失差、②直接対決結果、③ジャンケンの順で決する。

(2) 決勝トーナメント ※試合時間：1分30秒フルタイム

- ・トーナメント戦、先取が無く同じポイント数の場合はフラッグ判定、敗者復活戦無し。

3 記入例（予選リーグ）

A組			1	2	3	4	勝点 得失差	順位
1	るい	持国会		△ 0-0	○ 6-3	× 2-4	3 +1	
2	しすい	増長塾	△ 0-0		○ 3-2	× 0-4	3 -3	3
3	ゆうり	広目館	× 0-3	× 2-3		△ 1-1	1 -4	4
4	かいり	多聞道場	○ 6-2	○ 4-0	△ 1-1		7 +8	1

4 コート配置図

